

第九章 明治時代の佐世保

山口	中里	皆瀬			大野		柚木	佐世保				日宇	早岐		広田	広田				折尾瀬		江上	宮		村名	
場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所	
賤津			玉依姫神社				旧庄屋跡	谷郷	田代	名切	清水町	旧庄屋跡	稗田	城ノ腰	旧庄屋跡	" "	" "	" "	宮崎免 重尾免 崎岡免 浦川内免	三川内			正蓮寺			
大曲太兵衛	吉村太郎助	津田 貢蔵	井手太兵衛	山本 文平	岡学之助	重村 建助	松田 勘六	井手太兵衛	一ノ瀬良平	大田 鈴衛	中田 熊平	永盛 伝生	森本儀太郎	神田 実	多賀 南	楠本 碩水	井福 洞蔵	青山原九郎	吉永数太郎	宇都宮憲盛	田口 盛	八並重之丞	古川幸之丞	今里雄右衛門	指導者	
	平戸藩士	平戸藩士	大村藩士	平戸藩士	平戸藩士	平戸藩士	平戸藩士	大村藩士	平戸藩士	平戸藩士	平戸藩士	山伏	平戸藩士	神官	平戸藩士									大村藩士	職業	
明治初期	明治六	維新前後	明治六～明治七	弘化～明治初め	天保中期～明治初め	文久年間～明治初め	安政年間～明治初め	明治五～明治七	明治初め	明治初め	明治初め	文久年間～明治初め	明治初め～明治七	～明治七	安政～明治七	明治五～明治六			寺子屋式の私塾 明治六年十二月の 広田小学校の開校で 消滅	安政年間	嘉永年間	明治三～四頃	～明治六頃	慶応年間～明治初め	時期	
		漢学・漢字	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	漢学	漢学	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	読み・書き・算術	指導内容
			十七～八名	男子二十五名	男子三十二名	約六名	約八名					男子約四十八		農家、約三十	商家、約四十	青年				約百五十	男子約六十	最盛期九十	女子	男子二十	生徒	
	書道に長じる	レベルが高い	憲章堂の分室				憲章堂				伝生院	日宇小学校へ	稗田小学校へ	城ノ腰小学校	レベルが高い	井福塾	青山子屋敷	千田塾	宇都宮塾	鯛の浦塾	八並塾	古川塾	陽春館	静脩書院	十～十四才位	備考